

みてもらうこと みとめてもらう

絵具を設定し始めると、絵の具が大好きな子は敏感に反応し、期待感と共に席について待ちます。一斉に絵具活動を行わず、子によって興味を持つ その時を待っています。

あまり参加しないお友だちも、ふと やってみようと思いつ時があります。

出来上がると必ず保育士を振り返り、どの先生にも見てほしいと次第に作品をもって見て追いかけます。戸外にお友だちと出ている先生へ見せたい気持ちを感じ取り、一緒に見せにいきました。



見守られながら、楽しそう やってみよう色への気づき 何度も何度も繰り返すこと描くという行為の芽生え。

自分の作ったものを見てもらう、認めてもらうことがこの年齢にとって次の意欲に繋がる必要なかわりであると感じました。一斉活動ではないからこそその気づきを、大切にしたいと思います。 R4・7・11

少人数になると、やってみようと席に着きます。赤・青・黄混ぜて絵具が変化する様子は、色への興味をぐっと引き起こしているようです。紙を何枚も使いました。

いつでも視線を同じところまで下ろし、気持ちを受け止めようとしてくれています。



片付けも遊びのうち。流れる絵具に、目を奪われていました。



片付けまで全てやりきったこの日、初めてトイレでの排尿に成功しました。そこにも意味があるような気がして、思いを巡らせた担任一同です…

